

第4次京田辺市総合計画

『まちづくりプラン』重点プロジェクト

令和3年度の取組結果

▶まちづくりプランとは

まちづくりプランとは、基本構想に基づき、基本施策の体系や施策を実現するための主要な事業を示すものとして、「重点プロジェクト」と「分野別計画」の2部構成とし、市長マニフェストと連動したものです。

▶重点プロジェクトとは

都市像である「緑豊かで健康な文化田園都市」の実現に向け、基本構想の方向性に沿った「まちづくりプラン」の施策事業を展開していくなかで、今後4年間で重点的に取り組むプロジェクトのことです。

市長が政策集に示す5つの重点政策を基に、ワークショップなどの市民の意見を踏まえ、「まちづくりプラン」施策体系の分野を横断して、戦略的、重点的に取り組めるよう、「5つのプロジェクト」と「+1」にまとめたものです。

▶「まちづくりプラン」の進捗管理について

まちづくりプランの進行管理にあたっては、施策の実行性を確保するため、予算編成、事務事業評価、行政改革、組織目標、人事評価など、既存の行政管理システムを最大限活用したPDCAマネジメントサイクルによって施策の進行管理を行うこととしており、個別事業の進捗状況については、「事務事業評価」によって行います。

▶重点プロジェクトの進捗管理について

重点プロジェクトについては目標指標を設定し、「まちづくりプランレビュー」として部局別ヒアリングを実施し、施策の進行管理を確実に行います。

各プロジェクトの令和3年度取組結果は3頁以降のとおりです。

▶重点プロジェクトと施策体系との関係

まちづくりプラン施策体系 重点プロジェクト		〈1〉 安心・安全	〈2〉 緑	〈3〉 健康	〈4〉 文化・教育	〈5〉 田園都市	〈6〉 市民行協財政運営
重点プロジェクトⅠ 生み育てる喜びが感じられる子育て支援と人づくり		○			○		
重点プロジェクトⅡ 市民協働による安全・安心な地域のまちづくり		○				○	○
重点プロジェクトⅢ だれもが安心して暮らし続けられる支え合いづくり				○	○	○	
重点プロジェクトⅣ まちの利点を生かした産業振興と未来への基盤づくり			○			○	
重点プロジェクトⅤ 時代の変化に対応した新たな都市づくり			○		○	○	
重点プロジェクト+ 1 開かれた行政、市民と未来を創る市役所			○		○	○	○

重点プロジェクトⅠ

生み育てる喜びが感じられる子育て支援と人づくり

【目的・ねらい】

- 待機児童を発生させない安心の子育てシステムと、質の高い教育による次世代への投資を進めます。
- 安全・安心で快適な食育環境の確保を図り、子どもにおいしい給食を提供します。
- 地域ぐるみで子どもの安全を守るとともに、ワーク・ライフ・バランスの啓発を推進し、子育てしやすい環境づくりを進めます。

【令和3年度末までの取組状況】

- 北部地域の拠点となる市立幼保連携型認定こども園（仮称）大住こども園の整備に向けた実施設計を完了し、整備工事を開始しました。
- （仮称）学校給食センター新築工事基本設計を策定し、実施設計の策定に着手しました。
- 子どもの安全を守るために通学路一斉調査を行い、123箇所の安全対策を実施した。また、ワーク・ライフ・バランス推進のため、各種講座を開き、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めました。

【今後の進め方】

- 市立幼稚園・保育所再編整備計画に基づき、幼保連携型認定こども園の整備を進めるとともに、中学校給食の早期実現に向け取組みを進めます。

■ 成果指標

指標名	当初(令和元年度)	令和3年度末	目標値
子育て支援に関する市民満足度	71.2% (H29年度(2017)市民満足度調査『安心して子どもを生み育てられる環境づくり』で「満足」「おおむね満足」と答えた人の割合)	—	↗ ※増加させる (R4年度(2022)に調査予定)
待機児童数	0人 (H31年(2019)4月1日)	0人 (R3年(2020)4月1日)	0人 (各年4月1日)

■ 事業メニュー

アクション	取組概要	令和3年度の取組み	担当課
1 待機児童を発生させないための取組み	市立幼保連携型認定こども園の整備	○(仮称)大住こども園に係る基本設計及び実施設計	輝くこども未来室
	民間保育園などの整備促進	○みんなのき三山木こども園施設整備の支援	輝くこども未来室
2 保育サービスの充実	市立保育所などにおける看護師配置	○一時的保育事業の実施 ○AIによる保育所マッチング 等	輝くこども未来室
3 中学校完全給食の早期実現	中学校完全給食の早期実現	○中学校給食実施設計の策定	学校教育課
4 「地域・学校・行政」一体での児童の安全対策	地域・学校と連携した小学校通学路の安全対策	○通学路安全推進会議の開催 ○通学路一斉調査の実施及び改善対策の実施	学校教育課
5 ワーク・ライフ・バランスの推進	男性の家事・育児参画促進と、市民、事業所向けワーク・ライフ・バランスの啓発	○第3次男女共同参画計画に基づく事業の実施	人権啓発推進課

【参考】(仮称) 大住こども園施設イメージパース



【目的・ねらい】

- 身近なまちの課題を市民が自分の事としてとらえ、課題解決のために意見交換を行いながら、職員と地域とのつながりを深め、一緒に地域の課題を解決できるよう市民協働の進化を目指します。
- 市民とともに、地域の防災力強化、防犯対策を推進することで、災害に強いシステムの構築と安心のまちを目指します。
- 防災広場の整備や河川改修による治水対策の推進など、災害に強い基盤づくりを進めます。

【令和 3 年度末までの取組状況】

- まちづくりに興味のある方と地域とのつながりを深めるため、「京田辺ええまちつくろうカフェ」を開催し、市民協働の深化を図りました。
- 防犯カメラや防犯灯の設置を進め、防犯対策を推進しました。また、避難所運営個別マニュアル等を作成し、地域の防災力強化を図りました。
- 災害に強い基盤整備を進めるため、防災広場の用地買収等を行いました。

【今後の進め方】

- 市民のコミュニティ活動の推進、区・自治会との連携強化のため、まちづくり協議会の設置を進めるとともに、防災広場を整備することで、市民協働による安全・安心な地域のまちづくりを推進します。

■ 成果指標

指標名	当初(令和元年度)	令和 3 年度末	目標値
防災・減災に関する市民満足度	71.9% (H29年度(2017)市民満足度調査『災害に強いまちづくり』で「満足」「おおむね満足」と答えた人の割合)	—	↗ ※増加させる (R4 年度(2022)に調査予定)
市内刑法犯総数(田辺署管内で井手・宇治田原町の数を除く件数)	512件 (H29年(2017))	268件 (R3年(2020))	↘ ※減少させる (R5 年(2023))

■ 事業メニュー

アクション	取組概要	令和3年度の取組み	担当課
1 市民とともに課題解決・市民協働の進化	市民による主体的な地域課題解決に向けた仕組みづくり	○「京田辺ええまちつくろうカフェ」の開催 ○市民活動の支援	市民参画課
2 市民との連携による危機管理体制の充実	防災情報伝達の充実と避難環境の整備	○避難所運営訓練の実施(大住小学校) ○避難所運営個別マニュアルの作成(大住小学校)	安心まちづくり室
	災害ボランティアセンターなどの広域連携体制強化	○災害対策備品の購入	安心まちづくり室
3 消防団・自主防災組織などによる地域防災力のさらなる向上	自主防災組織の強化と地域の防災リーダーとなる防災士の資格取得助成	○地域版マイ防災マップの作成	安心まちづくり室
	消防団組織の充実と強化	○消防団への処遇改善 ○各種訓練等の実施	消防総務課
4 地域住民と連携しながら進める防犯・交通安全対策	地域住民との連携による防犯啓発活動と防犯カメラ、防犯灯の設置など防犯環境の整備	○防犯灯の設置 ○防犯カメラの設置	安心まちづくり室
	段差解消や視覚障がい者誘導用ブロックの設置などバリアフリーの推進	○田辺大通線の歩道改良工事を実施	都市整備課 計画交通課
5 まちの特徴を生かした住宅施策・空家対策の推進	空家に関する相談会、除却・改修補助などの実施	○空家に関する相談会の開催 ○JTIマイホーム借上げ制度説明会を開催	開発指導課
	若者と高齢者が同居し交流するソリデール事業の実施	○ソリデールに関するフォーラムの開催	開発指導課
6 防災拠点の整備	京奈和自動車道田辺西IC西側における防災広場の整備	○用地取得の交渉 ○関係部局と整備に向けた協議の実施	安心まちづくり室
7 災害に強い都市基盤の整備	水害からの安全性の確保に向けた治水対策の推進	○新西浜放水路:令和4年度用地取得に向けた調査に着手	都市整備課

【参考】京田辺ソリデールの様子



【目的・ねらい】

- 京田辺に、だれもが住み続け、また戻ってきたいと思えるような、安心で全世代型の支え合いシステムを構築します。
- 年齢を重ねたり、障がいがあっても、住み慣れた地域で健康に安心して暮らし続けられるまちづくりを進めます。

【令和3年度末までの取組状況】

- 民間商業施設「ブランチ松井山手」内に、「地域子育て支援センター松井山手」と「はぐはぐルーム松井山手」を開設し、気軽に立ち寄ってもらえる施設としてより多くの方に子育て支援サービスの提供体制を構築しました。
- 障害者生活支援センターにおいて相談支援事業を実施し、高齢者の方に対しても「高齢者いきいきポイント事業」を実施するなど、住み慣れた地域で健康に安心して暮らし続けられるまちづくりを推進しました。

【今後の進め方】

- 妊産婦に対する支援事業を引き続き実施するとともに、開設した支援センター・はぐはぐルーム松井山手においても、子育て相談や一時預かり、親子教室の開催など、さらなる子育て支援の充実を図ります。

■ 成果指標

指標名	当初(令和元年度)	令和3年度末	目標値
高齢者福祉、障がい者福祉に関する市民満足度	66.8% (H29年度(2017)市民満足度調査 『高齢者や障がいのある方が安心して暮らせるまちづくり』で「満足」「おおむね満足」と答えた人の割合)	—	↗ ※増加させる (R4年度(2022)に調査予定)
地域子育て支援拠点施設の利用者数	16,129人 (H30年度(2018))	10,779人 (R3年度(2021))	21,000人 (R5年度(2023))
認知症サポーター養成講座受講累計者数	7,833人 (H30年度(2018))	9,721人 (R3年度(2021))	12,000人 (R5年度(2023))

■ 事業メニュー

アクション	取組概要	令和3年度の取組み	担当課
1 持続可能な地域公共交通ネットワークの形成	まちづくりと連携した持続可能な公共交通ネットワークの形成(再掲)	○地域公共交通活性化協議会の開催 ○「路線バス無料の日」の実施	計画交通課
2 関係機関の連携による障がいのある人への支援	障がいのある人の生活を地域社会全体で支えるサービス提供体制の構築	○相談支援事業の実施 ○日常生活用具給付事業の実施	障がい福祉課
3 子育て世代へのサポートの充実	子育て世代包括支援センターの機能向上	○妊産婦に対する各種支援事業の実施	子育て支援課
	地域子育て支援拠点施設の利用促進	○地域子育て支援センター事業、ファミリー・サポート・センター事業の実施	子育て支援課
4 地域包括ケアシステムの深化と推進	高齢者の社会参加と生きがいづくり	○高齢者いきいきポイント事業の実施	高齢者支援課
		○高齢者が集うことのできる居場所づくりの支援	高齢者支援課
	認知症になっても安心して暮らせるまちづくり	○認知症センター養成講座開催	高齢者支援課

【参考】プランチ内にある地域子育て支援センター松井山手の様子



【目的・ねらい】

- 本市が持つ強みである「環境」「文化」「産業」を活用し、融合させる仕組みを構築することにより、地域特性を生かした産業振興を図ります。
- 家庭や事業所における地球温暖化対策の促進や、環境負荷の少ない可燃ごみ広域処理施設の整備により、未来に向けて持続可能なまちづくりを推進します。
- 新名神高速道路の全線開通に向け、企業立地のための基盤整備などの促進に取り組みます。

【令和3年度末までの取組状況】

- D-egg 入居者の入居費の一部を助成し、同志社大学等の知的財産を活用した起業家育成、市内企業等の新産業創出による産業活性化を推進しました。
- 住宅用蓄電池システム・太陽光発電システム設置に対する補助、COOL CHoice 普及啓発、「地球温暖化実行計画」の見直しなど、未来に向けて持続可能なまちづくりを推進しました。
- 大住土地区画整理組合に支援を行い、企業立地のための基盤整備などを促進しました。

【今後の進め方】

- ゼロカーボンオフィス推進ワークグループを設置し、今後の地球温暖化対策等について意見交換を行い、「地球温暖化実行計画」を見直すことで、未来に向けて持続可能なまちづくりを推進します。

■ 成果指標

指標名	当初(令和元年度)	令和3年度末	目標値
新たに、市内工業地域に立地した企業とD-eggに入居した企業の数	—	4事業者	10事業者 (R2~5年度(2020~2023))
市内温室効果ガス排出量	40.9万t-CO ₂ (H27年度(2015))	40.5万t-CO	36.6万t-CO ₂ 以下 (R5年度(2023))

■ 事業メニュー

アクション	取組概要	令和3年度の取組実績	担当課
1 同志社などと連携した新たな産業創出	起業家育成施設(D-egg)への入居あっせんや入居費を補助	○起業家育成施設(D-egg)入居費補助事業の実施 ○起業家育成施設(D-egg)退去後市内立地補助事業の実施	産業振興課
2 エコな暮らし、エコな事業活動の促進	家庭のエコ支援(太陽光と蓄電池の設置補助)とCOOL CHOICEの普及啓発	○住宅用蓄電池システム・太陽光発電システム設置に対し、補助金を交付 ○COOL CHOICE 普及啓発事業の実施	環境課
3 環境負荷の少ないごみ処理施設の整備	枚方市との広域化による可燃ごみ広域処理施設の整備(再掲)	○敷地粗造成工事に着手	ごみ広域処理推進課
4 企業立地のための基盤整備の促進	学研都市(南田辺西・東地区)の整備促進	○南田辺・狛田地区整備について、具体的なスケジュール協議の実施	企画調整室
	自主財源の確保と雇用創出に向けた大住工業専用地域の拡大	○大住土地区画整理組合設立認可	産業振興課 建設政策推進室
5 市民と企業、事業者との交流の促進	市民と市内企業との相互理解を進め域内での人材サイクルを構築	○田辺高校との連携事業に向けた検討	産業振興課

【参考】D-egg 実験室



【目的・ねらい】

- 甘南備山をはじめとした緑豊かな自然環境や街なかの公園など、身边に自然を感じることのできる緑あふれるまちづくりを推進します。
- 自然と調和したコンパクトな都市構造の形成を進め、JR京田辺駅・近鉄新田辺駅周辺では、文化拠点機能をもった新市街地整備と、駅前の再整備によって魅力ある中核拠点の整備を進めます。
- 快適な移動・交通環境の整備を進めるとともに、都市基盤の耐震化・長寿命化を進めます。
- 持続可能な農業の創造と観光分野における多様な連携を推進します。

【令和3年度末までの取組状況】

- 水辺の散策路の路面整備等を行い、身边に自然を感じることのできる環境を整備したほか、すてきなまちなみ支援制度により緑あふれるまちづくりを推進しました。
- 田辺中央北新市街地整備に向け、区画整理準備組合と調整を行いました。また、新田辺駅東地区についても事業手法について比較・検討を行いました。
- 快適な移動・交通環境の整備を進めるため各所に要望活動を行いました。また、下水道施設の基幹管路の耐震化・長寿命化を進めました。
- 持続可能な農業を創造するため、担い手の育成や生産・出荷体制を整備しました。また、観光分野では、お茶の京都DMOとの連携事業を行いました。

【今後の進め方】

- 農福連携をテーマとした田辺公園の拡張整備事業を進めるとともに、田辺中央北地区新市街地整備促進事業等を進めることで、緑あふれるまちづくりや魅力あるコンパクトシティの形成を推進します。

■ 成果指標

指標名	当初(令和元年度)	令和3年度末	目標値
自然環境、緑に関する市民満足度	64.2% (H29年度(2017)市民満足度調査『豊かな自然の保全と緑の再生』で「満足」「おおむね満足」と答えた人の割合)	—	↗ ※増加させる (R4年度(2022)に調査予定)
居住誘導区域内の人口密度	73.6人／ha (H27年(2015))	—	→ ※維持する (R5年(2023))
観光消費額	7.4億 (H30年(2018))	14.83億円	10億円 (R5年(2023))

■ 事業メニュー

アクション	重点取組み	令和3年度の取組み	担当課
1 緑あふれるまちづくりの推進	農福連携をテーマとした公園整備	○検討委員会において、公園整備内容について検討	緑のまちづくり室 障がい福祉課 農政課
	緑を楽しみ水辺に憩いながら、ウォーキングできる環境づくり	○路面表示、案内看板の設置 ○ウォーキングイベントの開催	緑のまちづくり室 健康推進課
	市民協働による身近な公園や緑地の維持管理の推進	○すてきなまちなみ支援制度の施行	施設管理課 緑のまちづくり室
2 魅力あるコンパクトシティの推進と新たな都市づくり	田辺地区における組合施行の土地区画整理事業による新市街地整備の促進	○都市計画に向けた京都府、市関係課、地権者等との調整	都市みらい室
	新田辺駅東側における生活利便性の高い市街地再整備の促進	○事業手法の比較・検討	都市みらい室
3 文化発信の拠点構築	文化施設を核とした複合型公共施設の整備	○民間活力の導入手法について先進地事例の調査	都市みらい室 文化・スポーツ振興課
4 快適な移動・交通環境の整備	市北部地域の道路の交通対策	○要望活動の実施 ○関係各所と協議の実施	建設政策推進室
	都市計画道路大住草内線の整備推進	○大住草内線道路整備に向けた概略設計業務を実施	都市整備課
	まちづくりと連携した持続可能な公共交通ネットワークの形成(再掲)	○地域公共交通活性化協議会の開催 ○「路線バス無料の日」の実施	計画交通課
5 持続可能な都市基盤の維持・整備	水道管基幹管路などの更新・耐震化	○基幹管路耐震化設計業務委託 ○基幹管路耐震化工事の実施	上水道課
	下水道施設の長寿命化	○下水道施設長寿命化について、施設設計業務の委託	下水道課
6 持続可能な農業の創造と観光分野での多様な連携の推進	農業の担い手となる認定農業者など農業後継者の育成支援	○担い手の育成 ○生産・出荷体制の整備	農政課
	玉露・碾茶、ナス、えびいもなどの農産物のブランド化を支援	○転入記念品として茶器の贈呈 ○農業振興に係る補助金の交付	農政課
	お茶の京都DMOとの連携による広域的な観光施策の推進	○お茶の京都DMOとの連携事業の実施 ○三山木駅前茶園風園庭の管理	産業振興課

【目的・ねらい】

- 市民がまちづくりの一員として、積極的に参画できるオープンな市政運営を目指すとともに、市の情報発信の充実と、効率的でスピーディーな行政運営、住民福祉向上のために、ＩＣＴやＡＩなどの最新技術の活用を進めます。
- 多額の財政需要が見込まれるなか、持続可能な行財政運営を推進するため、新たな財源確保や歳出削減など、行財政改革をさらに推進し、ＰＤＣＡサイクルの評価により施策事業の選択と集中を進めます。
- 大学や事業者、関係自治体と連携し、効率的・効果的なまちづくりを進めます。

【令和 3 年度末までの取組状況】

- 市民のまちづくりへの積極的な参加を促すため、SNS を活用した情報発信を推進しました。また、保育所入所調整事業にAI を導入し行政事務の効率化を図りました。
- 行政改革実行計画（令和 2～5 年度）について、確実な実行計画となるよう年度途中で進捗状況の把握を行いました。
- 「大学連携ディスカバリーベース」による大学連携として、同志社大学教授による「ポストコロナ社会を見据えた市民生活の向上について」の研究を進めました。また、「音楽によるアウトリーチ」「食学校における国際理解学習」など、地域と大学をつなぐ取り組みを進めました。

【今後の進め方】

- デジタル情報課を発足し、今後さらに行政手続きのデジタル化を推進します。また、大学連携ディスカバリーベース事業を推進し、地域・大学との連携を強化し、効率的・効果的なまちづくりを推進します。

■ 成果指標

指標名	当初(令和元年度)	令和 3 年度末	目標値
市SNSを利用するユーザー数	約3,000人 (R1年度(2019))	10,385 人	約4,000人 (R5年度(2023))
行政改革実行計画に掲げる事業の達成状況	－	95%	100% (R5年度(2023))
重点プロジェクトの達成状況	－	－	100% (R5年度(2023))

■ 事業メニュー

アクション	取組概要	令和3年度の取組み	担当課
1 市民と情報を共有する効果的な広報広聴の推進	広報紙のリニューアル	○広報紙のリニューアル	秘書広報課
	SNSを活用した情報発信の推進	○公式フェイスブック・ツイッターによる行政情報の発信	秘書広報課
	“映(ば)える”スポット、モノなどを発信	○市公式 LINE の運用開始	秘書広報課
2 ICTなどの活用による効率的・効果的な行政の推進	AI-OCR、RPAなどによる事務作業の効率化推進	○コロナ禍に対応したテレワーク等のシステム整備	管財情報課
	AIによる保育所マッチングの実施	○AIによる保育所マッチングの実施	輝くこども未来室
	個人番号(マイナンバー)カードの取得推進	○個人番号(マイナンバー)カード等の迅速かつ正確な発行	市民年金課 市民政策推進室
3 行財政改革の推進	市民との協働、質の高い行政サービス、効率的な行財政運営などに取り組む行政改革実行計画の推進	○行政改革実行計画(令和2~5年度)の推進	企画調整室
	下水道使用料の適正化	○水道ビジョン・上下水道事業経営戦略の策定 ○京田辺市公共下水道使用料改定を実施	経営管理室
4 PDCAサイクルによる評価の推進	第4次総合計画まちづくりプランレビューによる重点プロジェクトなどの進捗管理	○令和3年度まちづくりプランレビュー実施	企画調整室
5 大学・学研都市などとの産学公連携の推進	同志社などとの連携推進	○大学連携ディスカバリーベースの運用	市民参画課
	市民向けイベントなど学研都市と連携したまちづくりを推進	○けいはんな学研都市活性化促進協議会において、各種イベントを開催	企画調整室
6 広域行政の推進	枚方市との広域化による可燃ごみ広域処理施設の整備(再掲)	○敷地粗造成工事 ○施設建設地の用地取得	ごみ広域処理推進課

【参考】同志社大学生との連携事業の様子

